

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開2002-55333(P2002-55333A)
 【公開日】平成14年2月20日(2002.2.20)
 【出願番号】特願2000-244587(P2000-244587)

【国際特許分類第7版】

G 0 2 F 1/1335
 G 0 2 F 1/1333
 G 0 2 F 1/1343
 G 0 9 F 9/00
 G 0 9 F 9/30

【F I】

G 0 2 F 1/1335 5 0 0
 G 0 2 F 1/1335 5 0 5
 G 0 2 F 1/1335 5 2 0
 G 0 2 F 1/1333 5 0 0
 G 0 2 F 1/1343
 G 0 9 F 9/00 3 4 2 Z
 G 0 9 F 9/30 3 4 9 D
 G 0 9 F 9/30 3 4 9 C
 G 0 9 F 9/30 3 4 9 B

【手続補正書】

【提出日】平成16年5月7日(2004.5.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

液晶装置用基板であって、

基板と、前記基板上に形成された反射膜と、前記基板上の液晶層側に設けられた平坦面と粗面とを有し、

前記平坦面上には、遮光膜が形成されていることを特徴とする液晶装置用基板。

【請求項2】

前記遮光膜は、着色層が複数積層されてなることを特徴とする請求項1に記載の液晶装置用基板。

【請求項3】

前記反射膜は、前記粗面上に形成されていることを特徴とする請求項1又は2に記載の液晶装置用基板。

【請求項4】

前記反射膜は、光を透過する開口部を備えることを特徴とする請求項3に記載の液晶装置用基板。

【請求項5】

液晶層を挟持する一对の基板を備えた液晶装置であって、

前記一对の基板の一方の基板は、基板と、前記基板上に形成された反射膜と、前記基板上の前記液晶層側に設けられた平坦面と粗面とを有し、

前記平坦面上には、遮光膜が形成されていることを特徴とする液晶装置。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の液晶装置を表示部として備えることを特徴とする電子機器。

【請求項 7】

基板と、前記基板上に形成された反射膜と、前記基板上の液晶層側に設けられた平坦面と粗面とを有する液晶装置用基板の製造方法であって、

基板の液晶層側の表面の一部をマスク材によって覆い、前記表面のうち、前記マスク材によって覆われた領域以外の領域を粗面化する粗面化処理工程と、

前記粗面化の後に前記マスク材を除去し、当該マスク材によって覆われていた領域に遮光膜を形成する遮光膜形成工程とを具備することを特徴とする液晶装置用基板の製造方法。

【請求項 8】

前記遮光膜形成工程では、前記マスク材によって覆われていた領域以外の領域に着色層を形成する一方、前記マスク材によって覆われていた領域に複数の着色層を積層することを特徴とする液晶装置用基板の製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、この発明は、液晶装置用基板であって、基板と、前記基板上に形成された反射膜と、前記基板上の液晶層側に設けられた平坦面と粗面とを有し、前記平坦面上には、遮光膜が形成されていることを特徴としている。